

1) システムの名称 :

SS-MIX ストレージビューア

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け :

2.0. その他のデータ後利用系 (災害時対策等)

3) 特色 :

「SS-MIX ストレージビューア」は、標準化ストレージを活用したシステムです。外部保存を行うため、災害時の備えにも活用できます。

ストレージに格納された患者基本情報・処方・検体検査結果の全データのバックアップを院外(データセンターなど)またはポータブルハードディスクに取ることで、災害時にもこれらの情報が参照できるようになります。また、ポータブルハードディスクには参照用アプリケーションを同梱しており、WindowsのPCであれば接続するだけでこれらの情報が参照できます。

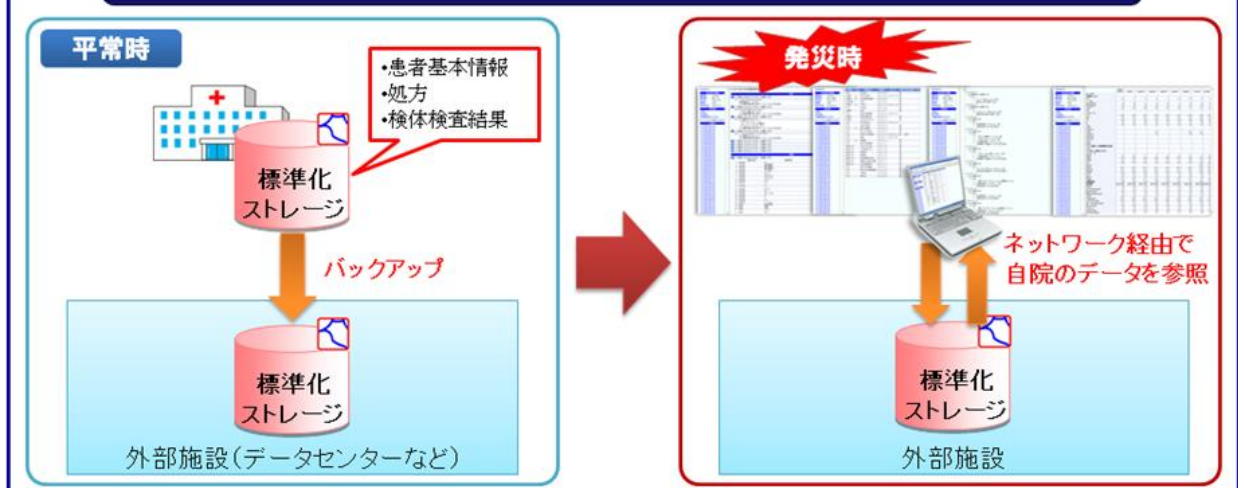
標準化ストレージの構築と、上位システムからのデータの書き出しが行われれば、上位システムベンダを問わずご利用いただけるシステムです。

4) 画面/構成図を含めた分かりやすい説明 :

難しい設定や高額な装置を必要とせず、 災害時にも標準化ストレージの参照を可能にします。

標準化ストレージに格納される患者基本情報、処方歴、検体検査結果の各データを以下の方法で退避でき、発災時にも必要なデータの参照性を確保します。

① 院外の標準化ストレージへデータをバックアップ



② ポータブルハードディスクへデータをバックアップ



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

■データ交換規約：HL7 (Ver2.5) / 患者基本 (ADT), 投薬系 (OMP), 検査系 (OML) に標準対応

6) 動作環境 (ソフトの場合)、ハードスペック (ハードの場合)：

【サーバ構成】

オペレーティングシステム：Windows Server 2008 (R) 日本語版

追加コンポーネント：.NET Framework2.0

CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上 (2 CPU を推奨)

メインメモリ：4GB 以上

【クライアント】

オペレーティングシステム：Windows (R) XP SP2 日本語版以降

追加コンポーネント：.NET Framework2.0

Internet Explorer7 以上

7) 稼動までに必要な作業・期間：

稼動までの期間は、およそ目安として1~2ヶ月ですが事前条件により異なります。

外部のネットワークから参照する場合はインターネット回線開通、およびセキュアなネットワーク環境が必要になります。

※標準化ストレージの構築が必須となります (費用別途)。

8) 価格 (桁数 (日本円における桁数)、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い)：

形態により異なります。別途お問い合わせください。

9) 保守の内容と費用：

形態により異なります。別途お問い合わせください。

10) 問い合わせ先 (販売会社 担当者、URL、e-mail 等) および開発元 (もし別途あれば)：

問合せ先：株式会社SBS情報システム <http://www.sbs-infosys.co.jp>

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂3-1-1

TEL：054-283-1450；FAX：054-284-9182

医療事業本部 営業担当

Mail：iryo@sbs-infosys.co.jp